福島工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	国語

科目基礎情報

科目番号	0008	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義・演習	単位の種別と単位数	履修単位: 4
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	4
教科書/教材	『国語総合・現代文編』『国語総合・古文編』（数研出版）		
担当教員	髙野 克宏		

到達目標

①現代文においては、筆者の言おうとしていることを理解できるようにする。
②古文・漢文においては、基本的な語彙や正確な文法の知識を身につる。
③日本語に関する様々な知識（漢字・語彙）を身につける。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	評論文・小説・古典作品の読解、漢字・語彙等の学習を通して、日本語の基礎を確認するとともに、運用能力を高めることを目的とする。
授業の進め方・方法	中間試験、期末試験ともに50分の試験を実施する。 定期試験の成績を７０%、小テスト・課題・平素の成績等を３０%として評価し、６０点以上を合格とする。
注意点	授業には必ず予習をして臨むこと。不明な語句がある場合は、自ら国語辞典・古語辞典・漢和辞典を引いて調べる習慣を身につけること。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	現代文：水の東西	高専国語への導入と基礎力の確認
		2週	現代文：ネットが崩す公私の境	基本的語彙・表現の確認と内容把握
		3週	現代文：「わらしべ長者」の経済学	基本的語彙・表現の確認と内容把握
		4週	古文：児のそら寝	歴史的仮名遣いと古文の基礎
		5週	古文：絵仏師良秀、孝孫	用言の活用に関する基礎知識
		6週	現代文：羅生門	物語の展開の把握・表現と構成の特徴
		7週	現代文：羅生門	登場人物の心理・主人公の自意識の理解
		8週	漢文：漢文入門	漢文訓読の基礎
	2ndQ	9週	漢文：漁夫之利、矛盾	物語の読解・故事成語
		10週	漢文：狐借虎威、朝三暮四	物語の読解・故事成語
		11週	現代文：ものとことば	物語の読解・故事成語
		12週	現代文：ものとことば	文章構成および文章内容の把握
		13週	現代文：時間と自由の関係について	基本的語彙・表現の確認
		14週	現代文：時間と自由の関係について	文章構成および文章内容の把握
		15週	前期のまとめ	期末試験の返却・解説と前期のまとめ
		16週		
後期	3rdQ	1週	古文：つれづれなる、友とする	作品の背景・基本的語彙の確認
		2週	古文：神無月の、ある人	基本的語彙・係り結び・助動詞・内容理解
		3週	古文：奥山に、花は盛りに	基本的語彙・係り結び・助動詞・内容理解
		4週	現代文：匂いは、いつも言葉の奥の何かを	文章の構成および内容の把握
		5週	現代文：添削の思想	基本的語彙・表現の確認
		6週	現代文：添削の思想	文章構成および文章内容の把握
		7週	漢文：管鮑之交・晏子之御	書き下し文と現代語訳
		8週	漢文：鶏口牛後	書き下し文と現代語訳
	4thQ	9週	現代文：富嶽百景	作者と作品の背景・基本的な語彙と表現の確認
		10週	現代文：富嶽百景	物語の展開の把握・表現と構成の特徴
		11週	現代文：富岳百景	物語の展開の把握・表現と構成の特徴
		12週	古文：芥川・東下り	作品の背景・基本的語彙の確認
		13週	古文：筒井筒	基本的語彙・助動詞の意味用法
		14週	古文：あづさ弓	基本的語彙・助動詞の意味用法
		15週	後期のまとめ	期末試験の返却・解説と後期のまとめ
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0